

令和2年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・1年次で学習した内容を踏まえ、「歌うこと」と「楽器を演奏すること」を中心に、「音楽を聴くこと」を交えて1年間通して様々な楽曲について学習します。
- ・学習の到達度は、授業毎に提出するノートや実技テストで見ます。
- ・音楽は音で表現する芸術です。クラスの仲間とともに音を合わせ、発表することで音は高められ、感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解をより一層深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ノート	観察 ノート	演奏の聴取 相互評価	観察 ノート、レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主 な 評 価 の 観 点				題 材 の 評 価 規 準	評 価 方 法
			a	b	c	d		
1 学 期	メロデーやアンサンブルを楽しもう ギターに挑戦！	【器楽】 ギター基礎 【鑑賞】	○	○	○	○	a: ギターの仕組み、歴史、音色、奏法等に関心を持ち、楽器の持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: 五線譜、タブ譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 d: ギターの特質や雰囲気などを感受しながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	イメージをもち、豊かなハーモニーを感じて歌いあげよう	【歌唱】 独唱・斉唱・合唱 朧月夜 他 【鑑賞】 合唱曲	○	○	○	○	a 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 純正律を知覚し、その特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	♪音楽を聴く力をつけよう♪	【鑑賞】 劇音楽	○			○	a: 音楽の成り立ちや合唱と楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート

2 学期	混声四部合唱 ハーモニーを奏でる喜び	【歌唱・観賞】 混声四部合唱 他	○	○	○	○	<p>a: 曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: リズム、速度、旋律、ハーモニー、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもってハーモニーを感じながら音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、読譜、音感などの技能を身に付けている。</p> <p>d: 混声合唱の音の厚みや広がりを知覚し、伴奏と合わさって表現されるものを感じ取り、その美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 ノート 演奏の聴取
	ギター重奏・三線に挑戦！ ハーモニーを奏でる喜び	【器楽・鑑賞】 ギター重奏	○	○	○	○	<p>a: ギターの音色や奏法に関心を持ち、複数のパートを合わせて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: ギターの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、楽曲に於ける自分のパートの役割を意識し、創造的に表している。</p> <p>d: ギター重奏の雰囲気や魅力などを感受しながら、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 ノート 演奏の聴取
		【器楽・鑑賞】 三線	○			○	<p>a: 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d: 音楽を形成する要素を知覚、感受しながら、邦楽の種類とそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして、和楽器に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	
様々な音楽を通して音楽文化についての理解を深めよう	【鑑賞】 ミュージカル 「キャッツ」 能楽	○			○	<p>a: 古今東西様々な音楽の種類やそれぞれの特徴に関心を持ち、レポートを作成し発表することで、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、音楽の種類やそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 レポート ワークシート	

3 学 期	く 声 の 魅 力 を 探 ろ う	【鑑賞】 オペラ 【歌唱】 「キヤッツ」より	○	○	○	○	a: 総合芸術であるオペラやミュージカルの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 場面を音楽で作り上げることを知覚し、音楽が生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリアやミュージカルナンバーの演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラやミュージカルに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	弾 き 歌 い に 挑 戦	【歌唱・器楽・鑑賞】 弾き歌いの発表	○	○	○	○	a: 自ら楽曲を選定し、学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 d: 演奏を感受し、見守りながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ノート 演奏の聴取
	和 楽 器 に 親 し む	【器楽・鑑賞】 箏曲	○				○	a: 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、邦楽の種類とそれぞれの特徴を理解したり、それらの価値を考えたりして、和楽器に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。